

中学生との真剣勝負

— サイエンスアカデミー 科学の甲子園ジュニア—

- ◇期 日 令和元年 11 月 17 日(日)
◇場 所 本校 物理実験室・生物実験室
◇参加者 科学の甲子園ジュニア出場中学生9名、
科学の甲子園出場予定者、SS 物理部員、SS 生物部員

12 月に茨城県つくば市で行われる第7回科学の甲子園ジュニアに出場する富山県代表の中学生が、大会当日と同様の形式で本校生徒と対戦した。

物理では、事前公開競技の課題「マグネティック・フィールドを支配せよ」で対戦した。この競技では、磁石でできた回転体を、フィールドの下に配置した磁石や電磁石によって制御し、回転体が既定のチェックポイントを通過することで得られる得点を競う。回転体のチェックポイントを通るルートや、磁石の配置の仕方などが重要となる。生物では、酵母菌とパン作りの関係を



説明する資料をもとに、発酵の最適温度を考え、より多くの二酸化炭素を得る実験を行った。どちらも本番同様に、規定の時間やルールが決められており、緊張感のある中で製作、実験が行われた。

科学の甲子園ジュニアチームの中学生は、練習の成果を発揮し、抜群のチームワークでスムーズに作業を進めた。本校の科学の甲子園出場者チーム、SS 部チームもそれぞれ独創的なアイデアで健闘した。中学生にとっては本番に近い環境で実技を行うことで、工作精度を高め、本番に向けて、新たな改善点を見つけることができた。高校生は、自分達だけでは思いもつかなかった中学生の創造力や工夫に驚き、発想力や物事の見方、考え方をより深めることができた。



競技後には、科学の甲子園ジュニアに出場経験のある高校生が、本番に向けて大会全体を通してのアドバイスをした。参加した中学生は、「今回の経験を無駄にせず、本番では最大限の力を出し、より良い結果を目指したい」という強い決意を語った。素晴らしいチームワークを生かして、本番の全国大会でも好成績をあげることを期待する。